

柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表(工認)(耐震計算(機電:核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設))

提出年月日:2020年7月22日
東京電力ホールディングス株式会社

NO	図書			指摘日	コメント内容	回答日	状況	回答	資料等への反映箇所	備考
1	—	最新知見として得られた減衰定数の採用について(使用済燃料貯蔵ラック)	—	2020/4/20	「第6表 実機ラックの固有周期と加速度・変位の関係」に示されるラック種類について、タイプⅠ及びタイプⅡの詳細を説明すること。また、ラックの応答加速度の算出に用いた設計用床応答曲線を説明すること。	2020/7/10	回答済	<ul style="list-style-type: none"> ・補足説明資料P24へ注記を追加しました。(ラック本体部分については同一ですが、ラックⅠについては、ベース部分が長辺方向に設置されており、ラックⅡについては、短辺方向に設置されている。そのため、重量もラックⅠの方が100kg重い。) ・補足説明資料P25へ設計用床応答曲線の図を追加しました。 ・第6表の作成には設計用床応答曲線Ⅰを用いており、第6表の結果を第15図、第16図へ反映していることをP22～23の本文へ追記しました。 	KK7補足-028-10-20改1 最新知見として得られた減衰定数の採用について(使用済燃料貯蔵ラック)	
2	—	最新知見として得られた減衰定数の採用について(使用済燃料貯蔵ラック)	—	2020/4/20	「第7図 模擬燃料集合体の配置」に示される実燃料模擬体(1体)及び形状模擬体(49体)について、加振試験でこのような2種類の模擬体を用いた理由を記載して説明すること。	2020/7/10	回答済	<p>実燃料模擬体は、挙動を把握するため1体使用し、減衰定数を求める合理的な試験方法として、外形寸法及び質量をほぼ同じとした形状模擬体49体を使用したことを、補足説明資料P7,P9の本文に追記しました。</p>	KK7補足-028-10-20改1 最新知見として得られた減衰定数の採用について(使用済燃料貯蔵ラック)	
3	—	V-2-4-3-1-1燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算書	紐付け資料	2020/4/20	「燃料プール冷却浄化系熱交換器の耐震性についての計算結果」に示される「脚に生じる応力」及び「基礎ボルトに生じる応力」について、熱交換器の長手方向転倒の場合と横方向転倒の場合で、大きく変わらない理由を整理して説明すること。		今回回答	<p>脚の応力に関して、「運転時質量による応力」と「鉛直方向地震による応力」はいずれも鉛直方向の圧縮応力であり、鉛直力を脚の断面積で除して算出しています。したがって、地震の水平方向による発生応力の差はありません。</p> <p>基礎ボルトの応力については、長手方向、横方向が同程度の引張応力となる条件であったため、差が小さくなっています。</p>	—	